

防災事例

項目	内容
テーマ	地域の特性を踏まえた実践的な訓練
種類	①訓練 ②イベント ③備蓄 ④商品 ⑤その他
開催日時	平成 25 年 6 月 16 日 AM 8:30 ~
場所	出雲中学校及び周辺地区のまちなか
主催者	萩中町会
対象者	地域住民
ポイント	<p>① 狭隘道路が多い地域での共助訓練 地域内では、狭隘道路が多いことを踏まえ、震災時の延焼火災を防止するために地域住民が共助で対応する訓練を行う。</p> <p>② 災害の脅威を実感 火災や実際の災害の脅威を実感するため、一時集合場所近辺で発災対応型の訓練を取り入れる。</p> <p>③ 防災意識の共有 訓練を行うための日頃の取り組みとして、街頭消火器の位置やAEDの設置場所、危険個所等を調査し防災マップを作成したり、町会所有の救助資器材の点検を行うなど、地域での防災意識の共有を深め結びつきを強めている。</p>
具体的内容	<p>参加者に実際の災害を想定して、臨機応変に対応してもらうため、地域(一時集合場所付近)で火災などが発生していることを想定して発災対応型の訓練を行いました。</p> <p>また、次の防災の担い手として、中学生や保護者による放水や搬送訓練も実施したり、災害時要援護者への支援も訓練に取り入れ、地域の共助の関係を強化しています。</p> <p>◆初期消火 参加者に臨場感を持ってもらうよう、町会独自で作成した「消火ハウス」を使用</p> <p>◆起震車体験</p> <p>◆煙体験</p> <p>◆要援護者支援(町会の車いすなどを活用)</p>
備考	町会では「見回り隊」による安否確認や服薬内容等記載シート、医療キットの配布を行っています。